

小諸 オモシロ 農家

10人いれば、10通りの農と関わり方があります。小諸市農ライフアンバサダーの武藤千春が、この地で農を営むオモシロ農家の生き生きとした活力溢れる農ライフをお届け。

#07

久保産直会で大玉トマトと白土馬鈴薯を生産する小池さん（写真手前）は、長野県農業大学校を卒業し、今年で就農5年目。以前は、飲食店勤務で昼夜逆転の生活を送っていました。久保産直会に入ったきっかけは、自分より遥かに年上の生産者たちの存在。「80歳を越えるおじいさんが何人もいて、自分がつくるトマトが一番だ、とライバル心を燃やして高めあっていました。その姿に心打たれ、自分もそうなりたいと思いました。」つくっているのはサンロードという30〜40年程前のどこか昔懐かしい味の品種です。光を必要とするトマトは、露地で直射日光をしっかりと浴びさせることで美味しくなるのだそう。「スーパーに並ぶトマトの99%

はら
続き
ここ



はハウス栽培。露地栽培だと、暑くなったり、豪雨に見舞われたり、病気にもなりやすい。雹が降ればボロボロになる。」それでも露地栽培にこだわる理由は、お客様の期待があるから。「全国的にも珍しい露地栽培のトマト。その希少性に価値をつけてもらっています。生産が追い付かず、注文してくださるお客様の3、4割にしか届けられていません。多くの方に届けるため、常に仲間を探しています。」生産者、後継者不足の課題を抱えながらも、大玉トマトのように真っ赤に燃える熱い想いが、その胸に宿っています。

今月の
オモシロ
農家さん

久保産直会 会員

小池 宏昌 さん

〒384-0807 山浦 1272-2(出荷場)
✉chairman.kubo@gmail.com